

月刊

# ボランティア

2010年

2 No.138  
月号

無料 ご自由に  
お持ち帰りください

## 今月の表紙イラスト

札幌市在住のイラストレーター  
本間志保さんにご提供いただき  
ました。

表紙のイラスト  
募集中

NPOな人

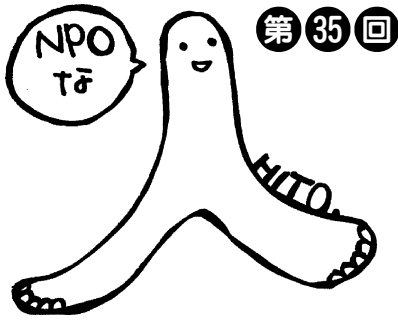
NPO法人霧多布湿原トラスト  
三膳時子さん

セルフヘルプの輪

札幌「非行」と向き合う親たち  
の会雪どけの会 代表 柊さん



北海道のNPO法人認証数  
1,558 法人  
(2009年11月末現在)



.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？  
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。  
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....

北海道新聞社会福祉振興基金助成



**著者** NPO 法人霧多布湿原トラスト理事長  
**三膳 時子 (さんぜん ときこ)**

1957年北海道浜中町生まれ。85年に霧多布湿原ファンクラブの会員となり、事務を手伝う。2000年より現職。理事長就任後は時間がなくなり、たまにヒマができてうまく使えない自分にとまどう日々。

## 私のふるさと

1987年8月、結婚して7年目にできた長女の出産と「霧多布湿原ファンクラブ」の設立月が重なった。私がこの仕事に大きく関わった歴史を振り返るとき、わが子の年を数える。未熟児だったわが子も、ファンクラブ（現在「霧多布湿原トラスト」）も、今は心配なく成長している。こんなに長くこの会に関わるなんて、自分でも想像をしていなかった。なぜ関わることになったのだろう。湿原や植物に詳しい知識を持っているわけではなく、ただ地元人というだけで。ここを訪れて「霧多布湿原は素敵ですね、きれいな所ですね」と口々に褒めてくれる人たちとの出会いがあり、そうした方々との対話が楽しく、そのことに感謝したくてこんなに長く関わられたのであろうか。土地柄もあり、人と会うことに飢えていたせいもある。若いときは、「こんな所から出て行きたい」と願っていた。都会への憧れも人一倍強かった。

私は地元の高校を卒業し、札幌の短大に進学した。寮生活を始めて2年目には、今でも親交が厚い仲間と一緒にアパートを借りてルームシェアをした。互いの出身地を紹介しあった時、皆、北海道人なのに、それぞれの町村の場所が分からなくて、私も「霧多布ってどこ？」と言われながら、北海道地図を広げて確かめあったことが今でも笑い話になる。ふるさとを語りあった時、霧多布には自慢できるものがあることを実感し、友達に見せたいと思ったことを覚えている。

地元に戻り、昆布漁師と結婚した。実家が同業なので仕事には慣れていたが、季節漁のことはまったく分からなかった。漁の仕事で「手伝って」と声をかけられれば、何でもやってみた。春4月から始まるサケマス漁の水揚げ。早朝、岸壁に横付けした船から水揚げされるサケとマスを選別し、魚箱に決まった尾数をいれ、せり市場へと運ぶ。朝日が昇ってくる前にひと仕事を終え朝食を済ますと、はえ縄漁の縄作りに取り掛かる。ウニやツブの加工所などに出かける時期もある。冬は寒風の吹きさらす岸壁で、スケソウダラの魚はずしもする。一年中忙しくミニバイクを乗り回しながら、楽しく仕事をした。

## 霧多布湿原の魅力に気づいて

その後、地元において比較的自由に時間が取れる専業主婦になっていた私は、霧多布湿原ファンクラブが正式に設立される1年ほど前から、事務を手伝うようになっていた。喫茶店を兼ねた事務所で、とても多くの旅人が霧多布湿原を知っていることに驚いた。ゆっくりお茶を飲みながら湿原を楽しむ。そんな時間の過ごし方は、私たち地元の住民を刺激した。ここで生活し、毎日この自然を見ていたが、いい所と思ったことはなく、立ち止まってゆっくり時間を過すなんて考えられなかった。「霧多布湿原は素敵。花が毎年自然に咲き、群生する規模が違う。花が次々と変化していく様子はおとぎの国のよう。素晴らしい」などと便りをもったり、「自然を見て感動し、涙しました」などの電話を受けているうちに、地元を見る私の目が変わった。

こんな所はどこにでもあると思っていた。海があって、漁師がいて、ただ使いきれない湿原(谷地)がある。40年ぐらい前には馬の放牧地として活用していたものの、荷揚げに車を使うようになった頃からその役割すらなくなり、何も使い道がない土地として残された。そんな見放されたところでも、当時子どもだった私たちにとっては格好の遊び場で、外遊びの思い出を語ると必ず湿原の話が出てくる。遊んでいた湿原で埋め立てられた箇所もずいぶんあるから、今、残っているところは「奇跡的に残った。残してもらえた」と思うようになった。

私たちの活動の一つに、湿原を買い上げ、未来の子どもたちへ残すというものがある。民有地である地主さんへ、湿原が緑になる頃にお願いの手紙を出す。それは必ず感謝の言葉から始まる。「いつもきれいな湿原を見せていただきありがとうございます。今年もたくさんの方々には喜ばれることでしょうか。この美しい湿原のある環境を未来の子どもたちへ残してやりたいので、どうぞ湿原を譲ってください」— 2000年にNPO法人を取得後、このような文面で、「湿原を譲ってください。買います」と意思表示をしてきた。

2008年には霧多布湿原で最大規模の民有地売買の話があった。湿原を買うとは言っていたが、1,200万円は持ち合わせていない。そこで、霧多布湿原ファンの皆さんへ寄付を募ることとなった。「たくさんファンがいる、応援者もいる」とは思いつつ、社会情勢の大変なこの時代に寄付を募って、どのくらい助けてもらえるのか不安だった。発信する過程でも、多くの方々の協力をいただいた。結果、2ヶ月弱で1,200万円以上集めることができた。今年2月には売買契約も無事に済み、霧多布湿原を最も広く所有していた方の土地が未来の子どもたちへ引き継がれることが決定した。霧多布湿原周辺の私有地は1,200ヘクタールと言われているなか、約半分が保全地となった。

私のふるさとでもあるこの霧多布湿原が、皆さんから褒められ必要とされている場所なら、大切にしたい。自分もここに住み続ける以上、気持ちよく暮らしたい。そして可能な限り、豊かな自然環境を未来の子どもたちへ引き継いでいこうと思っている。



この湿原を子どもたちへ

## ボランティア募集中

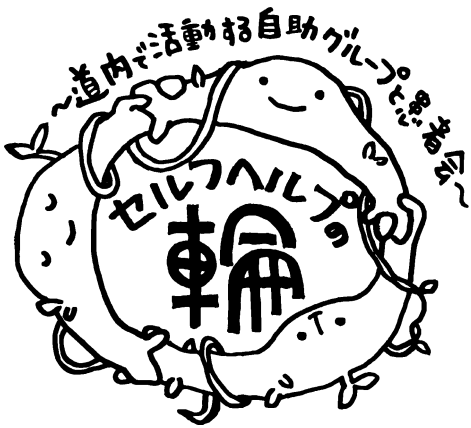
霧多布湿原トラストでは、ガイドやその他様々な業務を行う研修生を募集中。2010年4月から、ここで1年間勉強してみたい方はご連絡ください。

### ■■ NPO 法人 霧多布湿原トラスト ■■■■

trust@kiritappu.or.jp

TEL : 0153-62-4600 FAX : 0153-62-4700

〒088-1531 浜中町仲の浜 122 ホームページ <http://www.kiritappu.or.jp/>

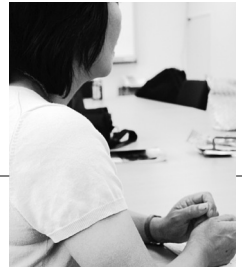


さまざまな悩みを抱えた人たちが自発的に立ち上げた「自助グループ」が各地に広がりつつある。立ち上げた経緯や活動はさまざま。体験を共有し、自らを見つめる。心に寄り添う活動を紹介する。

札幌市さぼ一とほっと基金助成

札幌「非行」と向き合う親たちの会 雪どけの会

代表 柊<sup>(ひいらぎ)</sup>さん



第 5 回

## あきらめないで見守ること。 子どもは着実に力強く、元気になる

過ちを犯してしまった子どもを持つ親たちの会がある。毎月1回、札幌市内中心部のビル一室で、子どもの非行に悩む親をはじめ、弁護士や保護司、元教員の世話人らが集う。和やかな雰囲気の中、持ち寄った漬物や菓子を手に自己紹介や近況など、テーマを設けることなく語る。会のただ一つのルールは「否定することなく、人の話に耳を傾ける」こと。親たちが心落ち着ける場所がここにある。

代表の柊さん(52・ニックネーム)が、会を立ち上げたのは2003年。窃盗の共犯として保護観察処分となった次男に、「私の育て方が間違っていたのでは」と自分を責め、「非行」と向き合う親たちの会(東京)を訪れたのが始まりだった。涙ながらに語る柊さんを、会は黙って受けとめ、素直に語れる安心感があった。そこで、「札幌でも会を必要としている人はいるはず」と周囲の協力を得ながら、会を発足。当初はメンバー3人、2ヶ月に1回の例会開催だったが、会を知った親らが徐々に集まり、翌年には毎月の開催に。例会とシンポジウムも毎年開き、この6年間で、のべ100人の親が会を訪れている。

初めて会を訪れた親は、親身な他のメンバーに涙ながらに心境を語り、言葉を詰まらせる。柊さんは「ここに来る親御さんは真面目な方が多い。教育に熱心になるあまり、社会の枠からはみ出す子どもを引き戻そうと焦ってしまい、結果、子どもとの距離ができてしまう」と分析する。会立ち上げ以来、柊さんの心にも余裕が生まれた。次男は、在学していた高校の校長に救われた。校長は次男に1ヶ月間の休暇を与え、「公共交通機関で道内をめぐり、旅で出会った人々とのエピソードをレポートとして提出すること」を復学のチャンスとした。安い素泊まりの宿を渡り歩く次男に、同じような経験があると言って食事を提供してくれた宿の主人や、ローカルバスの中で優しく話しかけてくれた地域の住人…人との出会いを経て帰宅した次男は、「優しくされた分を周りの人に返したい」と目に光を蓄えていた。現在は会社員となり、柊さんにTVをプレゼントするなど親子関係も良好だ。「子どもに自分の価値観をぶつけすぎていたのかもしれない。子どもは自分とは違う、そのままの姿を認めよう。息子から学んだことは大きい」――。

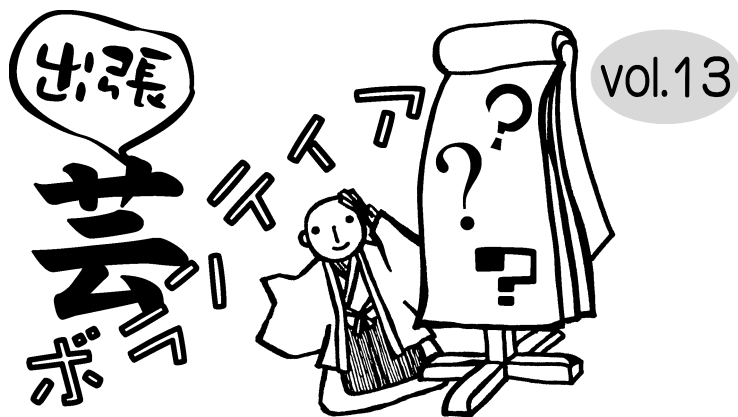
非行に走った子を持つ親はただ自分を責め続けてしまう。親たちの声を受け止める柊さんは、「周りに相談することもできず、悩む親は多い。さまざまな相談機関を経て、会にたどり着く保護者もいる。結論がでなくても、寄り添う人の存在、共感してもらえる安心感は大きい。変えられるヒントがあるかもしれない」とほほえむ。冬季間に降り積もった雪も、春になれば豊かな恵みの水となる。会は子どもの「雪どけ」を待つ親を支え続ける。

札幌「非行」と向き合う親たちの会 雪どけの会  
子どもの非行問題に悩む保護者を対象とした市民団体。毎月、平日日中に札幌市内で例会を開催している。日時、場所ともに非公開。  
TEL: 011-782-0635 (世話人 谷)  
「非行と向き合う親たちの会」(東京) ホームページ  
<http://shiochanman.com/hikou/>

検索 ボラナビ自助

ボラナビ自助 検索

ボラナビのホームページで、道内の自助グループや患者会を40団体程紹介中。「私たちの活動も載せて欲しい」「こんな自助グループがあれば参加したい」といった情報やご意見もお待ちしております。



施設や人が多く集まる場所に出張し、芸を披露してくれる方をご紹介します。

芸を依頼したい方は、日時や謝礼、交通費などに関し掲載先に直接ご相談ください。

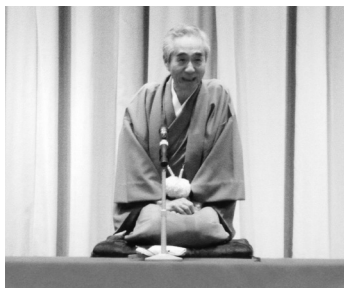
また、掲載を希望する芸をお持ちの方はぜひボラナビにご連絡ください。

ホームページでは、32組を紹介しています(2010年1月現在)。

出張芸ボランティア

検索

## 鳳亭老射手(ほうていおいて) 主に古典落語



### 自己紹介

定年退職後、北大大学院医学研究科に入学し、63歳で医学博士を取得。現在は専門学校等の非常勤講師に従事しています。講師としての技量を高めようと、落語研究会に入会したのがきっかけで、「目黒のさんま」「たらちね」「もと犬」「禁酒番屋」「親子酒」など約15演目を福祉施設、老人会、町内会、各種催事など150席余で披露するようになりました。テレビやラジオでは味わえない生公演の迫力を体感していただけることや、お客様との気持ちの通じ合いが、活動を続ける喜びになっています。お申し込みはひと月以上前をお願いします。北大落語研究会やそのOBとの共演にも応じます。私、本名は佐藤徹郎と申します。

●連絡先/TEL: 011-823-4583 FAX: 011-823-4583 携帯: 090-6219-9479

Eメール: satotetsuro@jcom.home.ne.jp

●出張地域・日時/特に制限していません。

●謝礼について/一席3万円を基準にしていますが、施設の事情や公益性などでご相談に応じます。

## 松川友姫さん 歌(バラード、ジャズ、昭和歌謡など)、ダンス



### 自己紹介

4歳から歌やダンスを始め、今はダンス講師もしている学生です。ある年の大晦日、曾祖父のお見舞いに行った病室で歌った際、声が外にもれたので職員に怒られるかと思ったら、「利用者さんが集まる場所で歌って」と言われました。そこで、数人のお年寄りが「これで良い正月が迎えらる」と泣きながら聞いてくれたことが印象に残っています。レパートリーはMisia、EGO-WRAPPIN、ドリカム、外国曲のバラード、ジャズ、昭和歌謡と幅広く、対象者やご要望により、歌い分けられます。老人ホームや養護施設、企業のイベントなどに出演しており、エイベックス全国オーディション特別賞とアミューズ全国オーディション特別賞を受賞しました。

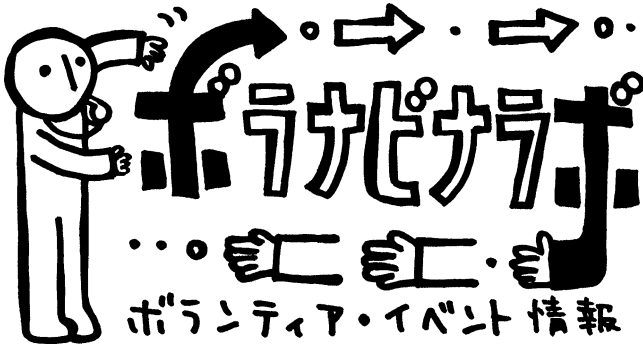
●連絡先/携帯: 090-2058-7649

●出張地域/札幌市内近郊

●出張日時/週末か夜(なるべく学校を休まないように。要相談)

●謝礼などについて/交通費はお願いします。CD-RもしくはMD再生できる音響設備やマイクなどをご用意いただきたいので、設備の貸し出しも含め、ご相談ください。





## 情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

- ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>
- ※インターネット環境が無い方は、FAXや郵便でお送りください。

締切は毎月25日。次回は2月25日締切→4月号掲載です。

## 掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

隔週  
土

## 障がいのある子どもたちのスポーツ支援活動

私たちは、障がいのある子どもたちの余暇活動の拡充と身体やコミュニケーション能力の向上を目的に、地域の方々と札幌大学の学生ボランティアによって「チャレンジド・スポーツ教室」を運営しています。障がいのある子どもたちとサッカーや軽スポーツを一緒にしたり、子どもたちの楽しい活動のためのお手伝いをするボランティアを募集します。

- 日時／原則隔週土曜日 10:00～11:30頃。2月は20日、3月は6・20日（予定）
- 場所／札幌大学のグラウンドや体育館（札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1）など。
- その他／スケジュールや詳細はホームページに掲載しています。
- お問い合わせ／札幌大学地域総合型クラブ「メーズ」〈担当：鈴木〉  
Eメール [s\\_suzuki@edu.sapporo-u.ac.jp](mailto:s_suzuki@edu.sapporo-u.ac.jp)  
TEL: 011-852-8159 FAX: 011-856-8760  
ホームページ [http://blg.sapporo-u.ac.jp/meez2/?page\\_id=9#chelenged](http://blg.sapporo-u.ac.jp/meez2/?page_id=9#chelenged)

第1・3  
木

## 「ひきこもり」の情報交換の仲間募集

「スペース・からころ」は、社会的なひきこもりの方とその家族が集い、悩みを語り合い、支え合い、情報を交換できる「居場所づくり」を目指しています。仲間と知り合っておしゃべりしながら、心も身体も元気になりませんか。カウンセラーが参加し、希望者にはカウンセリングもしています。どうぞお気軽にお問い合わせください。



- 日時／毎月第1・3木曜日 13:00～16:00
- 場所／かでる2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）  
※部屋番号は1階案内表示をご覧ください。「親の会」と「当事者の会」を同時に別部屋で開催しています。
- 交通機関／JR「札幌駅」、地下鉄「さっぽろ駅」〈10番出口〉より徒歩10分
- 参加費／1家族500円。ひきこもり当事者は無料。
- お問い合わせ／スペース・からころ 〈担当：吉田〉  
携帯：090-1389-2489 FAX：011-855-7188

常時

## グループホームでのお手伝い

社会福祉法人 HOP（ホップ）が設立した、軽度の知的障がいと精神障がい者のグループホームで、調理・そうじの手伝いや、話し相手のボランティアをしてくださる方を募集しています。資格の有無は問わず。学生の方も OK です。福祉に興味のある方や家事が得意な方は、ぜひお問い合わせください。

- 日時／毎日 18：00～21：00。ご都合のつく日だけで結構です。
- 場所／ゆうあい 24（札幌市西区二十四軒 4 条 6 丁目 3-2）
- お問合せ／社会福祉法人自立ホーム 24〈担当：長澤〉 TEL：011-632-7077 FAX：011-632-7066

2/24 締

## ホームページやポスター・チラシのデザインを致します

ホームページやポスターのデザイン制作をしております。この度、ボランティア団体や NPO 法人などのものを、無償で制作させて頂きたいと考えております。納期次第ですが、3 団体程度お受けできると思います。起業直後で、資金繰りが厳しい個人につきましても、無償でお受けします。ただし、ページ数は多くて 10 程度、ショッピングカートなどのシステム設置は作業量が多くなる為、無償ではお受けしかねます。仕事を始めて日が浅いので作品は多くありませんが、最近のものは (<http://coaching-q.com/>) です。ポスターは、パスワードが必要なサイトにアップしており、ご希望の方にはパスワードをお知らせ致します。まずはお気軽にメールでご連絡ください。

- 申込締切／2 月 24 日（水）
- お問合せ／佐藤 E メール [tomatotomatotomatotomatotomato@gmail.com](mailto:tomatotomatotomatotomatotomato@gmail.com) 携帯：090-3396-9159

来春

## 車いす介助ボランティア募集

私は、旭川在住で車いすを利用する 20 代の男性です。私を含め男性 2 人、女性 1 人で 2 泊 3 日程度で札幌市内を観光したいので、そのお手伝いをしてくださるボランティアを 1 人募集します。お願いしたいのは、買い物のサポートや車いすの後押しなど後方支援が中心です。看護師などの資格を持つ 20 代の方を歓迎しますが、該当しなくても構いません。別途、看護師 1 人が同行する予定です。まだ 1 年以上も先の話ですが、ボランティアの方が決まらないと、JR やホテルの予約ができません。どうぞよろしく願いいたします。

- 日時／2011 年 3 月の週末のいずれか一日。お手伝いいただくのは 11：00～最長で 17：00 の予定。
- 場所／JR「札幌駅」付近
- その他／交通費として 500 円、もしくはドニチカきっぷをお渡しします。観光にかかるボランティアさんの入場料・交通費は当方負担。
- お問合せ／小只（こただ）E メール [happyuuki1125\\_1019@yahoo.co.jp](mailto:happyuuki1125_1019@yahoo.co.jp)

登録ヘルパー募集中

**興味のある方 急募**  
ぜひお気軽にご応募ください♪

- 資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上 夜間は年齢不問 運転免許必須 南区在住の方(周辺の方も応相談)
- 勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可
- 給与／時給930円(交通費400円。深夜手当などの諸手当有り)
- 勤務場所／南区とその周辺
- 応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、下記までご連絡下さい。

**NPO法人せせらぎ ヘルパーステーションせせらぎ**  
〒005-0804 札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号  
TEL：(011)572-7810 FAX：(011)572-7840

**小さな商いで地域を元気に！**  
コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス  
5 団体連携フォーラム

日時/2 月 25 日(木) 14:00～17:20(交流会 17:30～)  
場所/きょうさいサロン(中央区北 4 西 1)  
内容/講演会(葉っぱビジネス 様々ないろどり 横石知二氏)  
分科会(15 の分科会を開催)。無料。交流会千円。

詳細・申込/ TEL:011-211-2964  
(札幌市市民活動協働推進担当課)  
ホームページ <http://www.hamanasu.or.jp>

## 第4期第2回北海道環境教育ミーティング「体験屋台」のボランティア募集

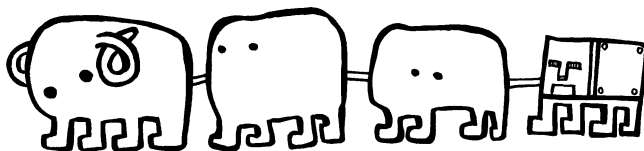
道内の環境教育実践団体や個人が協力して実施する「体験屋台」を今年も開催します。これは、気軽に「環境教育」に触れることのできるプログラムが屋台のように並んだもので、子どもから大人まで、誰もが遊びながら、地球や環境を身近に感じることができます。そこで、受け付けや会場巡廻などのお手伝いをするボランティアを募集しています。ボランティアの方が、体験屋台を楽しみ味わえる時間もあり、「楽しかった」「勉強になった」と感想をいただいています。前回の様子はホームページでご覧いただけます。ご協力をお待ちしています。

- 開催日時／2月13日(土) 9:00~17:30
- 場所／札幌エルプラザ(札幌市北区北8条西3丁目)
- 交通機関／JR「札幌駅」北口より徒歩5分
- その他／ボランティア打ち合わせを2月8日(月)19:00~実施。申し込みは2月5日(金)までで、先着20人で締め切ります。ボランティアに参加した学生には、上限1,000円まで実費交通費支給。
- お問合せ／第4期第2回北海道環境教育ミーティング事務局〈担当:ほんぷ〉  
Eメール heem.mail@gmail.com FAX:011-813-9993  
ホームページ <http://www.danjo.sl-plaza.jp/information/>

## 随時 パソコン操作などのボランティア

施設で暮らし、頸椎(けいつい)損傷のため両手足が動かさない59歳の男性のパソコンや携帯電話の操作、その他どんなことでも結構なのでお手伝いして下さる方を募集します。年齢、性別は問いません。どうぞよろしく願います。日時はご相談させてください。

- 場所／札幌市清田区北野(詳しい住所はお問い合わせいただいた際にお伝えします)。
- お問合せ／竹屋(世話人) 携帯:090-6449-8428



## 在宅生活のお手伝いを致します。

札幌市内にお住まいの高齢者の方を対象に、介護保険では使えないサービスを提供しております。

家事・外出・留守番・お手伝いなど  
料金/1時間に付き700円+交通費500円

~ボランティア活動支援事業~  
NPO法人日本理美容福祉協会札幌センター  
生活支援部 電話 011-577-2740





「雪合戦」は、壮瞥町生まれの冬のニュースポーツ。たかが雪合戦とあなどるなかれ。国際ルールはあるし、フィンランドではヨーロッパ選手権まで開かれています。日本では、今年も全国の激しい予選を勝ち抜いた精鋭152チームが昭和新山に集結し、チャンピオンの座を目指して熱く激しいバトルを繰り広げます。実行委員会では、この北海道を代表するイベントを町民と一緒に支えるスタッフを募集しています。

- 日時・内容／2月24・25日(水・木)9:00～夕方 シェルターづくりなどの会場設営。  
2月27・28日(土・日)8:30～夕方 大会運営。記録係・雪球係・歓迎レセプション(ジンギスカン)補助など。
- 定員／20歳以上の男女10人(先着順)
- 申込締切／2月6日(土)。2月13日(土)18:30～壮瞥町公民館にて事前説明会を開催します。
- その他／屋外で終日作業しますので、各自で防寒着・長靴をご用意ください。作業用軍手(雪合戦オリジナル)と昼食は当日支給します。傷害保険に加入します(参加者負担無)。交通費と謝礼はありません。宿泊をご希望の方は、会場までの送迎バス(2/21・22のみ)が停車する宿泊施設をご紹介します(宿泊費は各自負担)。
- お問合せ／昭和新山国際雪合戦実行委員会  
Eメール blacky@taupe.plala.or.jp  
TEL:0142-66-2244 FAX:0142-66-2800  
壮瞥町字滝之町384-1 そうべつ情報館内  
ホームページ <http://www.yukigassen.jp/index2.html>

知的障がいのある子どもたちの水泳教室で、子どもたちをマンツーマンで指導しています。インストラクターの指導補助ボランティアをしていただけませんか。期間は今年4月から翌年3月までで、1年間活動できる方をお願いします。

- 日時・対象／月・木曜日は4歳～小学生、土曜日は中高生。いずれも15:00～17:30。
- 場所／札幌YMCAプール(札幌市中央区南11条西11丁目)
- その他／水着を支給します。
- お問合せ／北海道YMCA〈担当:牧野〉  
Eメール makino@hokkaido-ymca.or.jp  
TEL:011-561-5217 FAX:011-563-0041

## ログハウスで田舎体験ツアー in 春の大沼

新日本三景である大沼は観光地としても有名な自然豊かな小さな町です。ログハウスで生活をしながら、薪割りや炭焼き等の田舎の仕事を体験し、雪かきボランティアを行います。他にも、豆腐、アイスクリーム、木工づくり体験と、盛り沢山の内容です。

開催日時／3月5日(金)～9日(火)(定員5名)4泊5日 食事付

宿泊場所／北海道七飯町 山野荘(ログハウス)(JR函館本線大沼公園駅集合)

持物／防寒着・汚れてもいい服、防寒靴(長靴)、帽子、手袋、洗面用具、寝袋

実費／社会人10,000円、学生9,000円(NICE・HIF・マイルストーン会員割引有) ※現地までの交通費は自己負担。

お申込み・お問合せ／大沼マイルストーン22〈担当:木村・谷本〉

北海道国際交流センター(HIF)内【TEL】0138-22-0770 【FAX】0138-22-0660  
【Eメール】[milestone@hif.or.jp](mailto:milestone@hif.or.jp) 【ホームページ】<http://blog.livedoor.jp/milestone22>



5/1  
締

## 映画祭「アースビジョン in 北海道」実行委員を募集します！

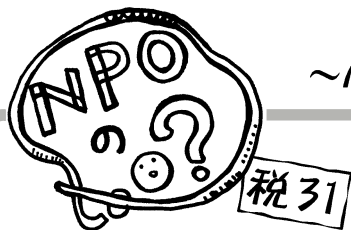
地球環境への想いを映像作品で体感する「アース・ビジョン地球環境映像祭」では、世界各国から寄せられた現在の環境を伝えるドキュメンタリーやアニメーション作品が上映されます。2010年5月、この「アース・ビジョン」が北海道にやってきます。この映像祭の実行委員として活動しませんか。主な作業は、事前の宣伝活動と当日の運営です。年齢・職業不問。よろしくお祈いします！

- 日時／主に週末日中。
- 場所／あけぼのアート＆コミュニティセンター2階7号室（札幌市中央区南11条西9丁目4-1）
- 交通機関／地下鉄南北線「中島公園駅」から徒歩10分
- その他／映画祭当日のみ、開催地までの交通費支給。開催地は、ラムサール条約登録湿地「ウトナイ」の森にある自然体験施設「イコロの森」。
- お問合せ／森と水の庭プロジェクト（旧称：Art-Activity UTONAI）〈担当：北川〉  
Eメール info@visual-activist.com 携帯：080-6505-0462 ホームページ <http://www.utonai.net>

## 随時 デイサービスのボランティア募集

当デイサービスは1998年にオープンし、50人程度のご高齢の方が利用しています。オープン当初より、ボランティアさんの協力があり、現在も8人の方にお茶だしや洗い物をお手伝いしていただいています。活動に加わっていただける方は、ぜひご連絡ください。

- 日時／月～土曜日 9:00～12:30 または 12:30～16:00。  
これ以外の時間帯でも、できるだけ応じますのでご相談ください。
- 場所／札幌市北区新琴似12条7丁目1-45
- 交通機関／地下鉄南北線「麻生駅」より中央バス01、03、08、17番「新琴似12条6丁目」停留所下車。
- その他／交通費として一律400円支給。
- お問合せ／新琴似溪仁会デイサービス〈担当：仲谷〉  
TEL：011-763-5500 FAX：011-763-5201



～NPOのちよつとした疑問にお答えします。～

**Q** NPO法人として認証されたのですが、理事長が病気で活動がほとんどできなくなってしまいました。しかし、数年後には活動を再開する予定です。このような場合も所轄庁等への報告は必要ですか？

- **A** 仮に1年間何も活動しなく、資金や財産の増減もなくても、毎年事業年度終了後3ヶ月以内に、所轄庁(北海道庁等)に事業報告書等を提出しなければなりません。その場合、事業報告書には「活動なし」と記入し、収支計算書や貸借対照表や財産目録も何もなければゼロと記入し、活動を休止している簡単な理由なども記載して提出するといいでしょ。税務署等にも法人税等の申告書に「休眠中」などと記入して提出すると共に、道税事務所や市町村役場には、その旨を連絡しておく、均等割等の税負担も生じなくなるでしょう。なお、当初より法人税法上の収益事業を行っていない団体は、税務署への申告義務を元から有していないので、新たな手続きは不要です。
- 瀧谷和隆（瀧谷和隆税理士事務所 [apitakiya@aol.com](mailto:apitakiya@aol.com)）

## 随時 共同学童保育のボランティア

どんぐり児童育成会では、小学生の子どもたちが放課後を過ごしています。学童保育は「昼間の兄弟」といわれています。ここの活動を支え、援助して下さるボランティアを募集しています。子どもたちの勉強を見たり、子どもたちとおしゃべりをしたり、一緒に遊んだりしてください。

- 日時／月～金曜日 14：00～17：30頃
- 場所／札幌市中央区宮の森2条13丁目7-10
- お問合せ／どんぐり児童育成会  
TEL：011-644-9683

## 随時 国内外のワークキャンプや中長期ボランティアの参加者を募集

“カラフルでヘルシーな地球社会”づくりを目指し、国内外でワークキャンプや中長期ボランティアを行うNPO法人NICE(ナイス)では、参加者を募集しています。ワークキャンプとは世界中から集まった仲間と寝食をともにしながら地域の人たちと行うボランティアで、環境保護や福祉、農業、村おこしなど各地域の特色あるプロジェクトに取り組んでいます。ボランティアワークにとどまらず自炊による食事、夜間のワークショップの実施など人間的成長もかなえるワークキャンプは現在、世界的広がりを見せています。参加者が私たちの活動に興味を抱いたきっかけは「国際ボランティアをしてみたい」や「世界の若者と友達になり、異文化交流をしたい」「外国語がうまくなりたい」「環境・福祉・開発などの問題を学びたい」などさまざまです。ワークキャンプの期間は2～3週間で海外へは世界98ヶ国3000ヶ所に派遣。2ヶ月以上にわたる中長期ボランティアも世界27ヶ国へと派遣しています。国内では、各地でワークキャンプや中長期ボランティアを受け入れており、きっとあなたにぴったりの活動が見つかるはずです。参加者の不安を解消するため、体験談&説明会も開催しています。みなさんが一歩を踏み出すお手伝いをします。各プログラムの詳細はホームページでご確認ください。

- お問合せ／NICE 全国事務局 TEL：03-3358-7140（月～金 10：00～12：30、13：30～18：00）  
ホームページ <http://nice1.gr.jp> 新宿区新宿2-1-14 エレメンツ新宿ビル401  
※参加申し込みをする際は、「ポラナビを見た」と、とお伝えください

## 随時 海外と日本の子どもたちの絵画交換交流活動サポート

“絵を交換し合った子どもたちが、いつか世界のどこかで出会えたら…”。小さな願いから大きな感動を世界中の人々に伝えるために絵画交換活動を始め、現在は、韓国の子どもたちとの交流を進めています。この活動に関心のある方は、ぜひご連絡をいただけませんか。お願いしたいのは、絵画の交換に伴う事務処理、パソコンのエクセルソフトを使ったデータ入力、絵画の仕分け整理、文書の翻訳（英語・韓国語・ロシア語）、ホームページ・ポスター・参加証のデザイン、作品の撮影、他にもたくさんのお仕事があります。好きな時間に、あなたの好きなこと・できることで構いません。ぜひご連絡ください。

- 日時／月～金曜日9：00～17：00
- 場所／札幌市白石区本郷通13丁目南5-19
- 交通機関／地下鉄東西線「南郷13丁目駅」下車、徒歩1分
- お問合せ／NPO法人EEMNS イーメンズ国際平和教育財団 設立準備委員会  
Eメール [eemns@eemns.com](mailto:eemns@eemns.com) TEL：011-861-0660 FAX：011-861-2333  
ホームページ <http://www.eemns.com>

随時

## アザラシ生態調査ボランティア募集

近年、日本海側ではアザラシが年々増加して漁業被害が深刻化していると報道されているようですが、本当にアザラシが増加しているのか、そしてアザラシによって水産資源が減少しているのか、疑問に感じています。アザラシの生態に関して真実を後世に伝えたいという思いで、2003年から焼尻でアザラシの生態調査を行っています。一緒に活動しませんか。ボランティア説明会を開催しますので、興味のある方はご連絡ください。

- 日時／2月14日(日) 10:00～と13:00～(2回)。
- 場所／北海道立市民活動促進センター(札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館西棟1階)
- お問合せ／焼尻ごまちゃんクラブ〈担当:河野〉  
Eメール gomafu-hungskangee72@ezweb.ne.jp

月  
2回

## 障がいのある方へのパソコンボランティア(深川市内)

車いすを使用する深川市在住の30代の女性が、自宅でパソコン操作を教えてくれる人を募集しています。昨年春にvistaのノートパソコンを購入しましたが、ほとんど使っていません。電源のON/OFFや、文字入力の方法など、基本的な操作から教えていただけませんか。目標は、インターネットで検索できるようになること、YouTubeで大好きな嵐の動画を見ること、画像をスキャナーで取り込んで色をつけること(フリーソフト「ゆめいろえのぐ」使用)です。マウスやキーボードを動かすことはできます。NPO法人札幌チャレンジドの事務局員が数回、同行いたします。

- 日時／月2回程度、土・日曜日希望(要相談)。1回1時間以内。
- 場所／深川市緑町
- その他／1回3,000円お支払いいたします(交通費込)
- お問合せ／NPO法人札幌チャレンジド〈担当:谷口・日置〉  
Eメール challenged@s-challenged.jp  
TEL:011-261-0074 FAX:011-219-1811  
ホームページ <http://www.s-challenged.jp>



～NPOのちょっとした疑問にお答えします。～

Q

会員に通知・資料を発送した直後、総会前に、検討していたことが発生したので、当日議案に加えました。後日、総会に欠席した会員から、「その審議があるなら出席したかった」と言われました。当日に議案を追加してはいけなかったのでしょうか？

- A 非営利活動促進法第14条の6は、社員総会では、予め通知をした事項についてのみ決議をすることができるとしています。よって、当日に、予め通知した事項とは全く関係のない事項を議案として追加することはできません。もっとも、この点については、定款に別段の定めを置くことが認められており、定款において緊急動議の規定を特別に設けている場合で、その要件を満たせば、議題の追加は可能です。ただし、このような定款を設けているNPO法人はとても少ないと思われるので、定款を確認していただき、かかる規定がなければ、原則通り、当日に議案を追加することはできません。
- 下矢洋貴 弁護士(佐々木総合法律事務所 TEL:011-261-8455)

**2/11(木・祝)**

▶ 講演「心病む時代に臨床医の視点から」とミニコンサート  
 ▶ 開演 9:45~12:00 (開場 9:15)  
 エルプラザ 3 階大ホール (札幌市北区北 8 条西 3 丁目)

講演会とミニコンサートを開催します。物が豊かになり、人間の自由も権利も拡大したように見える今日。日本人の精神的混乱、品性の低下、閉塞感、生きにくさはいったい何に由来するのでしょうか。30年にわたる精神科臨床医の視点から考えます。講師は平安女学院大学名誉教授で精神科医の工藤信夫さん。30分行うミニコンサートは、当会代表がピアノとギターの伴奏でゴスペルを歌います。定員 200 人。前売り 1,000 円(電話予約可)、当日 1,300 円。☎NPO 法人アガベハウスエンジェル <安田> TEL: 011-688-6137 携帯: 090-2877-7412

**2/13・14(土・日)**

▶ 温故知新音楽劇「噂、湯カゲン、イイかげん」  
 ▶ 13日 19:00、14日 13:00・17:00 開演(30分前に開場)。コンカリーニョ  
 (札幌市西区八軒 1-西 1 番 1 階 タワープレイス 1 階 JR 琴似駅直結)

温故知新音楽劇とは、地域の歴史を取材して脚本を作り、住民が出演する、「故きを温ねて新しきを知る」ことを主題にした劇創作事業です。これまで未就学児~70代まで延べ 50 人が参加し、今年で 5 回目を迎えます。戦後の琴似の銭湯が舞台で、そこで交わされる噂話から思わぬ幸せが運ばれるストーリー。ぜひ観にいらしてください。中学生以上前売り 1,000 円、小学生 300 円。当日は 200 円増し。未就学児は保護者の膝の上なら無料。


☎NPO 法人コンカリーニョ <佐藤> Eメール mail@concarino.or.jp TEL: 011-615-4859 FAX: 011-615-4866  
 ホームページ <http://www.concarino.or.jp>

**火・水他**

▶ お悩み相談受付中  
 ▶ 毎月第 1・2・3・4 火曜、第 4 水曜 13:00~20:00  
 ほっとワールドのつぼ (江別市野幌町 55-5) JR「野幌駅」北口下車徒歩 5 分

「のつぼお茶の間お悩み相談」では、ファイナンシャルプランナー、シニアライフアドバイザーなどの専門の相談員が、みなさんのいろいろな悩みを、マンツーマンでお受けしています。小規模団体・NPO・個人などで行う事業や団体設立、金銭トラブル・人生設計・資金運用・保険、ハーブ・アロマセラピー・自然療法、医療・介護、家庭や職場に眠る古布や糸、ミシンなどの有効活用についてお答えいたします。テーマごとに、対応できる曜日と時間帯が決まっていますので、詳細はお問い合わせください。相談料 500 円 (お茶付き)、お一人様 40 分程度。要事前予約。

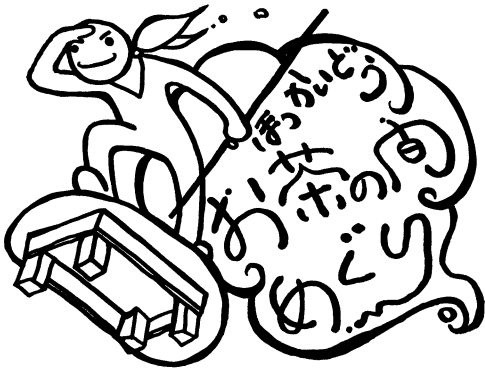
☎NPO 法人シニアマスターズネットワーク <藤原> 携帯: 090-5074-6636



ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

- ▼ 初掲載でしたが反響があり、ボラナビはとて **も頼りになる存在**です。
- ▼ 当日、ボラナビの方たちは不安そうだった。 **事前の研修**を徹底したい。
- ▼ 原稿を **簡潔にまとめて**もらえてよかった。
- ▼ 私たちが、 **日常の活動でふれあうことが少ない年齢層の人たち**と出会えたことに大変感謝しています。
- ▼ 数百枚もの書き損じ葉書きをいただき驚いています。 **また一人様の情けに触れました。**
- ▼ 私たちの **団体名を知ってもらうことができた**と、嬉しく思います。





誰でも気軽に立ち寄りおしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

このコーナーは、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

## Vol.29 ふれあいサロン「もみじ」

- 場所 栄ヶ丘会館2階和室（札幌市東区北36条東21丁目）
- 日時 第2水曜日 13:00~15:30。時間内は出入り自由。
- 参加費 100円
- 参加対象 だれでも。
- 主催・連絡先 栄町東町内会 TEL:011-741-6440（東区社会福祉協議会）



### お茶の間について

おしゃべりだけでもOKですし、囲碁や花札、マージャンなどのゲームをしても構いません。得意な方を先生に、アクリル毛糸タワシや絵手紙などの講習会を開催することもあります。新年会では百人一首、春には花の種苗交換、年に1回は近くの公園で野外サロンの開催をしています。不要な本の貸し借りをするミニ図書館も好評です。お茶やコーヒー、お菓子を用意しています。女性が多いので、男性や若い方も楽しめるように工夫し、参加者を増やしていきたいと思っています。

### メッセージ

現在の近所づきあいは、あいさつをして立ち話をするのが、お互いの家を行き来しなくて寂しいことや、阪神淡路大震災の時、近所づきあいのある地域では救助などが円滑に進んだらしいことから、町内の人が集まる場を作りたいと考え、2004年に始めました。ご近所同士のつながりを大切にしたい温かい地域社会、顔が見える町内会を作っていくことを目的としています。サロンの開催を検討していらっしゃる方も、一度見学にいらしてください。



ポラナビカフェも  
毎月開催しています。



日時/2010年2月27日(土)、3月13日(土) 10:00~11:30  
 場所/ポラナビ事務所(中央区北5西6 札幌ビル7階)  
 内容/テーマを決めずに楽しく話し合う場です。  
 参加費/300円 定員/10人  
 参加方法/1週間前までに要予約。  
 TEL:011-242-2042  
 volunavi@npohokkaido.jp  
 月寒あんぱん本舗(株)ほんま様より茶菓子の提供があります。



# 12月の

事務局の1カ月を  
振り返りつつご紹介



1(火)●北海道ボランティア・市民活動センター運営委員会に森田が出席。センターの活動状況の報告を受けた。

4(金)●申請書を送付していた助成財団より、企画について質問を受けたので、回答書を送付した。

7(月)●「地域・テーマ公益プロジェクト北海道ブロック会議」に高山が参加。北海道 NPO サポートセンターが中心となって、北海道の公益ポータルサイトを2010年2月に開設する予定とのこと。

9(水)●地域ポイント制度研究会(札幌市)に森田が参加。サビカの活用方法を検討した。

14(月)●北海道放課後子どもプラン委員会と北海道

- 学校支援地域本部事業運営協議会に森田が出席。道内各地で行われた研修会の視察報告などがあった。
- 15(火)●某助成に申請した企画について受付窓口の方とお話した。行政刷新会議ワーキンググループによる「事業仕分け」で見直し表決を受けた基金であるため、実施は不透明であるとのこと。
- 17(木)●個人の方から、「ボラナビに寄付したいが、その分を確定申告できないか」と問い合わせをいただく。札幌市さぼーとほっと基金を利用すると可能なので、その旨お知らせした。
- 18(金)●ご高齢の方200人ほどが学ぶシニア大学で森田がスピーチ。出席者の好みにあうか自信がなかったが、ワークショップを取り入れてみたところ、盛り上がり過ぎてホッとした。
- 21(月)●ボラナビに寄付金を用意してくださった某法人を訪問する予定だったが、2年前とは違う所に移転されていたことに気づかなかった。担当者とお会いできず、訪問は延期させていただくことになった。
- 22(火)●ファシリテーション研修会に参加。札幌市職員と住民がグループに分かれて、いくつかのワークショップを行った。

## ボラナビ倶楽部の会員になりませんか？

社会を変えたい人

一緒にボラナビを育ててみたい人

市民活動やボランティアに興味がある人

ボラナビに情報・広告を載せたい人

ボラナビ大好きな人

■年額 / 個人5千円、法人1万円。

■特典 / 月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる(月1回)。法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できるなど。ぜひお申し込みください。

■お申込み・詳細 / ホームページで検索

※会員期間は、来年度(2010年4月~2011年3月)です。なるべく、2010年3月までに申し込みください。今年度の会員もまだ募集しています(個人のみ3千円)。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042

**月刊ボラナビの配置先** ボラナビは毎月25日に発行しています(約1,000ヶ所にて無料配布中)。今月は札幌市白石区の配置先をご紹介します。

■白石区/JR白石駅/サッポロ珈琲館北郷店/ビーンズショップ東札幌店/びっくりドンキー南郷通店/中石石油ニュー白石・配送センター/北海道エネルギー(白石中央・米里・チャレンジ北郷新道・南郷通・東白石・札幌流通センター・北郷インター・北郷3条・北郷通・白石水源池通・菊水・北13条橋)/札幌河辺石油(JOMO白石ステーション・JOMO札幌インターステーション・JOMO北郷東ステーション)/札幌信用金庫(北都支店・菊水支店・南郷支店)/北海道銀行(菊水元町出張所・北郷支店・白石支店・東札幌支店・北都支店・流通センター前支店)北海道労働金庫札幌東支店/北洋銀行白石中央支店/白石区役所/白石区民センター/白石区社会福祉協議会/地区センター(北白石・菊水元町・白石東)/東札幌図書館/ボラ勤労青少年ホーム/JICA札幌/まちづくりセンター(白石・東白石・東札幌・菊水・北白石・北東白石・白石東・菊の里)/白石区体育館/白石温水プール/これからや/札幌日産自動車駒白支店/Honda Cars 札幌中央南郷通店/Honda Cars 札幌白石本通店/コブさっぽろ(川下店・菊水元町店・北郷店・本郷店・ルーシー店)/札幌東急ストア(南郷7丁目店・南郷13丁目店)/マックスバリュ(白石店・菊水店・東札幌店)/スーパー JOY 白石店/北雄ラッキー(菊水元町店・白石ターミナル店)/ビックハウス白石店/ダイエー東札幌店/文教堂札幌ルーシー店/ドコモショップ(東札幌店・白石中央店・北郷店・南郷店・地下鉄白石店・南郷18丁目店/ニトリ白石店)

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。  
※配置に協力していただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。  
遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様の協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。

## カ フ ユ レ ポ

12月のボラナビカフェは8人で話し合いました。「自分にできるボランティアとは？」や、「若者が異文化の人種に感じる。彼らに何を教えられるか」などが話題に上りました。また、身近な人を2人亡くしたという方には、他の参加者から「グループホームで仕事をしていた時、利用者の死から、自分の祖父母を大事にしたいと感じた」「死は、遺された(のこされた)人に何かメッセージを残してくれる」「私も肉親を亡くしたが、見守られ、応援されていると感じる」など、いたわりの気持ちや励ましの言葉が話され、経験を分かち合いました。参加者の多くは、母親や息子など身近な人を亡くして、話し合いのあとは温かいものに包まれ、皆が優しい気持ちになれたように感じました。



## ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (サシス順)

札幌信用金庫様	中道リース株式会社様	北海道文化放送様
札幌通運労働組合様	株式会社ニトリ様	森田雄二様
城宝和茂様	匿名希望者様	遊佐新聞販売株式会社様
進藤芳彦様	北雄ラッキー株式会社様	株式会社 HBA 様
NPO 法人チャリティ・プラットホーム様	北海道銀行様	株式会社 NTT ドコモ様
株式会社土屋ホーム様	北海道新聞社様	
寺岡ファシリティーズ株式会社様	有限会社北海道新聞中田専売所様	

### 寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000円以上の寄付金や、この欄への10,500円の寄付広告をいただいた際は、誌面でお名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーとほっと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金入りが可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL:011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

### ■情報掲載料金 (各1号につき)

種類	サイズ (天地×左右)	料金
企業・行政など広告A	50 mm×157 mm	63,000円
企業・行政など広告B	50 mm×76 mm	31,500円
NPO・NGOの情報A	50 mm×157 mm	10,500円
NPO・NGOの情報B	50 mm×76 mm	5,250円
NPO・NGOの情報C	定型	無料
裏表紙	50 mm×157 mm	105,000円
バナー広告	60ピクセル×120ピクセル	52,500円

※基本的に前払いでお願いいたします。

※上記の料金は、ご自身で制作された場合のものです。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。(A=6,300円、B=4,200円、バナー広告=6,300円)

※バナー広告の掲載団体・個人は協賛一覧でご紹介させていただきます。

※「NPO・NGOの情報C」は、誌面の都合により掲載できない、又は縮小する場合があります。

### ■定期購読のご案内

#### ●各号1部(6ヶ月間)……………1,575円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。

#### ●お申し込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

定期購読のお申し込みをされる場合(特に企業でお申し込みの場合)は、寄付または寄付広告をご検討ください。詳細は上記の「寄付金について」をご覧ください。

### ボラナビ倶楽部へのお振り込みは

■ゆうちょ銀行(郵便振替)  
02700-1-5671

■北洋銀行北7条支店  
(普)3662056

■北海道銀行札幌駅北口支店  
(普)0816050

■北海道労働金庫道庁支店  
(普)3153060

■札幌信用金庫本店  
(普)4255071

●口座名:ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、支払い手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

#### ■ボラナビモバイル



QRコード対応携帯のみ

北海道新聞をはじめとする、地域の新聞社が運営するショッピングサイト「よんななクラブ」では、日本各地の逸品・特産品をお届けしています。



よんななクラブ

検索



株式会社47CLUB ■ <http://www.47club.jp/> ■ e-mail:customer@47club.jp